

学校施設の地域開放について

「地域ぐるみで子どもを育てる」ための取組の一環として、2019 年度から全小学校にコミュニティスクール制度を導入予定で、現在進めているところです。

これに併せて、学校と地域が手を取りあって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の実現を目指して、2019 年度からモデル小学校において、学校施設の地域開放の充実に取り組んでおります。

また、この取組を通じて、学校と地域の方々とのさらなる協力関係の構築と、地域の力を活用した学校教育活動の活性化も図っていきます。

1 モデル実施校

- (1) 中崎小学校（図書室、家庭科室）
- (2) 江井島小学校（図書室、家庭科室、理科室）
- (3) 錦浦小学校（図書室、家庭科室、理科室）

2 実施時期

2019 年 4 月 1 日より実施

3 実施概要

- (1) 平日の放課後や休日に、図書室や家庭科室などの特別教室を地域に貸出

（貸出時間） 平日 17:00～21:00

土曜日 9:00～21:00（※中崎小学校のみ 15:00～21:00）

日曜日 9:00～17:00

※グラウンドと体育館については、既に、平日の放課後、

土・日曜日に地域へ開放している。

- (2) 鍵開け、使用調整などの貸出業務は、コミュニティ・センター職員が対応
- (3) 貸出料金は、モデル校での実施のため無料

※ 活用例) 放課後こども教室、わくわく地域未来塾、こども食堂、子ども会行事、
高齢者等と子どもが交流するレクリエーション活動、
地域や歴史について学ぶふるさと学習活動 など

- (4) 利用状況 ※参考資料 1

4 課題

- ・同じ学校敷地内にありながら、コミセン施設が有料であるのに対し、特別教室は施設使用料や空調機使用料が無料であり、利用条件に違いがある。
- ・江井島小学校には、コミセンに会議室が 3 室あり、また本館には調理できるスペースやフリーで打合せなどができる部屋があるため、特別教室の利用ニーズが少ない。
- ・今後、特別教室について、放課後児童クラブの実施場所としての共用を図る場合がある。

5 今後の取組

2019年度：モデル小学校3校で、特別教室を地域に開放

2020年度：モデル小学校の拡大（3校→10校程度）

2021年度：全小学校28校で、特別教室を地域に開放

※ モデル校での実施結果、貸出状況や利用者のニーズ等を把握した上で、普通教室の開放や学校備品の貸出に繋げていく。